Yui Asaka

ISBN4-7648-1481-1 C0076 ¥1200E

定価1200円／近代映画社

浅香 唯 フォト&エッセイ
Present
~浅香For You~
Present ~浅香 For You~
浅香唯フォト&エッセイ
近代映画社

Yui Asaka

ISBN4-7648-1481-1 C0076 ¥1200E

定価1200円／近代映画社

Present～浅香For You～

浅香唯フォト&エッセイ

1987年 12月30日 第1刷発行
定価1200円

著　者　浅香唯

発行者　小杉修造

発行所　近代映画社

〒105　東京都港区西新橋2－7－4第20森ビル
電話・編集03-591-8231(代)　営業03-591-7101(代)

印刷所　大日本印刷株式会社
版　下　K.K.ワールド写植

ISBN4-7648-1481-1 C0076 ¥1200E

～浅香を支えてくれた皆さんです～

フォト／瀬志本邦彦・八木沢進・杉田重男

●

写真提供／野村誠一

●

スタイリスト／渡邊由香子

●

ヘアメイク／押田秀明

●

アートディレクター／松山昴司

●

デザイン＆レイアウト／ホワイトアート

●

コピーディレクター／いわききょうこ

●

編集協力／株式会社六本木オフィス

●

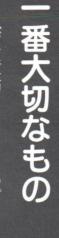
Special thanks to

㈱ハミングバード／フジテレビ／東映㈱／鐘紡株式会社／泉郷プラザホテル

●

衣裳協力

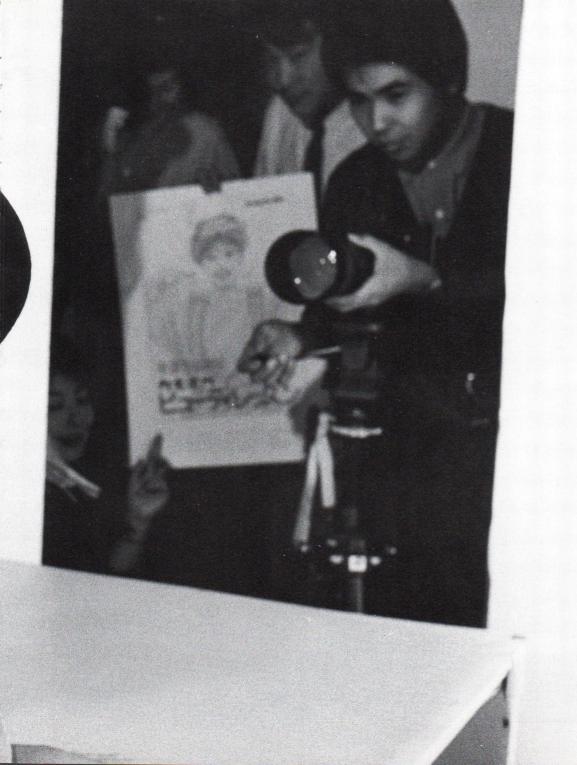
inkbee／JANY原宿店

一番大切なもの

私が一番大切にしているもの。
それは、明るさ、それも、すごいあっかるさ。そして、元気。この二つです。
あっかるさと元気、浅香は死ぬまで持ち続けたいですネ。芸能人としてだけじゃなく、将来、結婚して家庭に入っても、子供ができて、お母さんになってからでも〝明るい、元気なお母さん〟と言われるようになりたい。
というのも、私の母がネ、すごく明るい人なの。母を見て育ってるから、私も、そうなりたいの。母だけじゃなく、例えば、父は男性としての理想だし、お兄さんもけんかはするけど、たよりがいのある兄キです。
こんな家庭環境を、私が親になった時に、私の子供たちに味わって欲しいと思うから、良き母になろうと思っているわけです。
いつまでも、あっかるく、そして元気に。

ファンの人たちへ

いつも浅香を応援して下さっている皆さん。どうもありがとう。ファンレターとかも、たくさんもらっているのに返事書けなくてゴメンなさい。読むのが精一杯、って状態なの。それも追いつかないくらい、浅香は、連日、多忙です。

だから、応援して下さっているファンの人たちに私が今、できる最大の返事は、やっぱり、テレビや映画なんかでガンバッて、その姿を見て、楽しんでもらうことだと思ってます。

私のファンは、年齢層が広いの。子供からおじいちゃんまで。女の子のファンも割と多いしネ。皆さん、これからも浅香はガンバるから、いつまでも応援してて下さい、ネッ。

もし生まれ変わったらペットショップ

もし、歌手、浅香唯になってなかったら、今ごろ、どうしてただろう。あるいは、もし、もう一度生まれ変わって、他の仕事に就けたとしたら、何をやるだろう……。

私、もし他の仕事ができるなら、ペットショップで働きたい。トリマーっていうのかナ、犬や猫にシャンプーしたり、毛をカットしたりする仕事。動物が好きだから、動物相手の仕事がしてみたい。

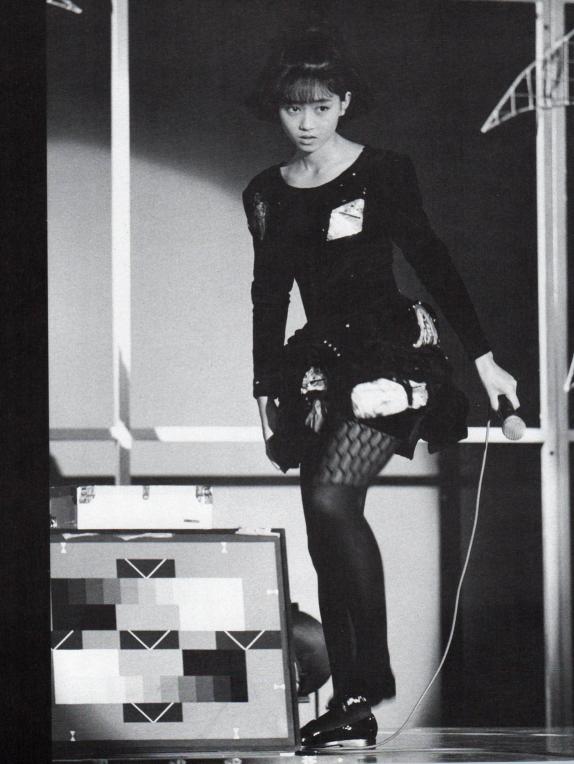
それから、これは最近思うようになってきたんだけど、学校の先生って、面白そう。昔は、保育園の保母さんに憧れてたけど……。

先生なら、中学の先生がいい。高校になると、見た目、生徒たちの方が大人っぽく見えちゃうだろうね。

10年後を見つめて…？

10年先の浅香って、どんな人になってるだろう。ワーッ、想像つかないなあ……28歳か。ウ～ン。私って、あまり先のこと考えたことない人なんですヨ、実は。そりゃ、バク然と、何歳くらいで結婚するだろうとか、こんな家庭をつくりたいなんて夢は一人前に持ってますけど。

そもそも、私、〃抱負〃というものを（ハッキリとは）持たない人。ホラ、取材とかで、〃来年の抱負を聞かせて〃とか、〃今後、やってみたいことはありますか？〃なんて聞かれたりするけど、いつも答えられない。

あまり先のこと考えないから。その日、その日の一日が楽しければいい、もっと言えば、今が楽しければ、それでいいっていう考えなんです。

第4話
浅香 唯ラストメッセージ～明日へ～の巻

フジテレビ系ドラマ「スケバン刑事(デカ)III」主題歌

虹のDreamer

作詞・湯川れい子／作曲・井上大輔／編曲・新川博

ブルー
忘れな草は
瞳の中で
今も　ゆれてる　け・ど…

ドリーム
ふり向かないわ
嵐に堪えて
待つの　青い空

※すき透る　悲しみが
　頬を濡らす日もあるけれど
　涙のあとに
　虹が　架かるのなら
　そうよ　追いかけるわ
　あなたを

ブルー
切ない夢に
くちびる寄せて
そっと　ささやく　の・よ…

ドリーム
負けたら駄目よ
若さを賭けて
未来　確かめて

信じてね　誰よりも
深い貴方への愛の色

くじけないでね
独りきりじゃないわ
愛は　言葉さえも　いらない

※Repeat

フジテレビ系ドラマ「スケバン刑事(デカ)III」主題歌

瞳にSTORM

作詞・湯川れい子／作曲・井上大輔／編曲・新川博

瞳はお喋りだから
心の形　すぐさまに
涙の海に変えるわ

STORMY NIGHT
どうしてなの？
愛はいつも憎しみの
STORMY NIGHT　嵐　堪えるわ

叶えてね　ささやき
そっと　そっと　指先で
胸に秘めた
銀の十字架(クロス)に祈ってるの　お願い

夢の中　貴方に　逢わせてね　今夜も

助けを求めるように
悲しい声で　風の音
わたしの窓を叩くわ

STORMY NIGHT
争うほど
人は幸せ　傷つけて
STORMY NIGHT　瞳に嵐

いつまでも　くちびる
そっと　そっと　口づけを
Ah—　待つのよ
星降る夜に抱きしめてね　わたしを

拒めない　誰にも　約束を信じて

叶えてね　ささやき
そっと　そっと　口づけを
Ah—　待つのよ
星降る夜に抱きしめてね　わたしを

夢の中　貴方に　逢わせてね　今夜も

フジテレビ系ドラマ「スケバン刑事(デカ)III」主題歌

STAR

作詞・有川正沙子／作曲・タケカワユキヒデ／編曲・鷺巣詩郎

夕陽が落ちれば　明日(あす)を待つ夜が
ビロードの腕で　すべてを包む

哀しい時にも　走り続けたい
たったひとつの　夢を信じて

愛は何処(どこ)にあるの　見上げれば
キラリ　西の空を　横切るわ

追いかけて　私の　Shooting Star
導いて　きらめく　Shooting Star
紅く　こころ　燃やしたい

誰もが悩んで　傷つく時代を
何故に大人は　きれいと云うの

自由　憧れても　遠いけど
いつか　飛んでみせる　風の中

見つめてて　私の　Shooting Star
どこまでも　消えずに　Shooting Star
蒼く　速く　駆け抜ける

追いかけて　私の　Shooting Star
導いて　きらめく　Shooting Star
紅く　強く　燃えながら

10月のクリスマス

作詞・森浩美／作曲・吉実明宏／編曲・若草恵

教会(チャペル)の鐘　響く街角
葡萄色に染まる黄昏
「クリスマスに…」って　秘密の約束
したけど　待ちきれない

Listen to my heart
隠しても　胸の音　聴こえるでしょう？

ずっと「今夜」を待ってた
ちがう私になると…
リボン解くように
ちょっぴり早い「Merry Christmas…」

肩を貴方　引き寄せるから
ちょっとイケないコになっちゃう
キッスのあとで　貴方の腕に
こっそり　しがみついた

Listen to my heart
抱き締めて　震えてる　裸の心

「今夜　どこかにさらって…」
そっと　つぶやいてみる
ロマンティックな夢と
私のすべて…「Merry Christmas…」

ずっと「今夜」を待ってた
ちがう私になると…
リボン貴方の手で
解いてほしい「Merry Christmas…」

Hold me, Kiss me,
Silent moon light

コンプレックスBANZAI!!

作詞・神沢礼江／作曲・三浦一年／編曲・西本明

みんな誰でも　ココロに　秘密の　complex
まさか他人(ひと)には言えない　ヒサンな　heartaches

モチロン　男のコは　根暗なタイプじゃマズいわ
だけどカッコだけの　自信過剰じゃ
ビビッ　ビビッ　ビビッ　ビビッ　ちゃう

※ヘンな子　ミョウな子　BANZAI!!
顔がダメでも　男は愛敬
ナカミがあるなら　いいじゃん！
それが×(バツ)なら　結局　勉強

気取ってたって　キマらない
悔やんでたって　つまらない

男なら　フラれたぐらいで　落ちこんじゃダメよ

実は　わたしも　ココロに　ナイショの　complex
おっきな声じゃ　言えない　ケナゲな　heartaches

トーゼン　女のコは　ロマンスドラマのヒロイン
でもね　目が覚めると　ツライ現実
マイッ　マイッ　マイッ　マイッ　ちゃう

ヘンな子　ミョウな子　BANZAI!!
ムネは無くても　女は根性
つれなくされても　いいもん！
いつか　地団駄ふませて　あげるわ

グチってばっか　いられない
悩んでばっか　いたくない

女なら　フラれたぶんだけ　はじけなきゃダメよ

※Repeat

贈りもの

作詞・沢ちひろ／作曲・井上大輔／編曲・大谷和夫

去年の冬色の服
そぅ　わたしの誕生日
はじめて　あなたがくれた
カーネィションつけていた
ほほを染めて　思い出せる

※夕暮れはオレンジの
　りぼんをかけて
　大好きと　つぶやいた
　わたし　包む

その瞳を
すこし　とじて
その手のひら
まだ　あけないで
贈りもの

お願い　子供っぽいと
ねぇ　わらってしまわずに
今だけはどんな夢も
かないそうな気持ちだから
たとえオモチャの　ロケットだって

ふたりなら何処へでも
行けることだけ
つたえたい　わたしなの
受けとめてね

その瞳を
すこし　あけて
そのクチビル
ア・リ・ガ・ト・ウって…
贈りもの

※Repeat

ヤッパシ…H!

作詞・森雪之丞／作曲・編曲・馬飼野康二

レイコの自慢は　彼との大胆night
あるコトないコト　教えてくれる
実は未熟な私　美少女失格気分よ
情けない片想い　ああああせるぜ　ホント！ホント！

※A！　A響されて
　B！　Bン感しちゃう
　C！　Cらないうちに　熱くなる

恋のアルファベットが　過激に進めば
愛の手前は　Iの手前は　ヤッパシ…H！

シンジと先週　部屋で二人になって
危険な空気が　胸しめつけた
実はシメシメなんて　抱きしめられたとたんに
なぜか怖くて逃げた　ああああ馬鹿よね　ホント！ホント！

D！　Dトの朝は
E！　Eけない想像
F！　Furachiな少女　憧れる

恋のアルファベットを　教えてほしいの
大人ぶるには　大人ぶるには　ヤッパシ…H！

※Repeat

モダンボーイ白書

作詞・松井五郎／作曲・中崎英也／編曲・矢野立美

不思議してる髪が　イカす感じね　ダーリン
Danceのうまい瞳　挑発的よ
だけどいつも　もてすぎてる
あなたすぐに　浮かれてる

すっぽかしてもジョークで　気をそらすから　ダーリン
あなたがくれた指環　わざとはずした
抱かれそうに　近づいても
さよならと　言えるかもね

みつめあえば　他のひとに
言えないこと　思いだすでしょ

※Hey Hey Little Boy
　愛してる　それだけが　知りたいのよ
　Hey Hey Little Boy
　ロマンスは飾らずに　ふたりでひとつ

かなり自慢のシャツに　ルージュをつけて　ダーリン
ばつの悪い横顔　瀬戸ぎわポーズ
甘いキスも肘鉄にも
揺れる気持ち　込めてあげる

ジェラシーには　愛の答え
はなさないで　このときめきを

Hey Hey Little Boy
夢みせて　銀色のボタンはずし
Hey Hey Little Boy
胸鳴らし　ときめきは　恋してひとつ

※Repeat

ふたりのMoon River

作詞・三浦徳子／作曲・小杉保夫／編曲・矢野立美

九月の風が吹けば　スカーフが
あなたの頬を　撫でてゆきます
キラキラ星が　光る時間まで
お願いよ　動かずにいましょう…

流れ星　私の日記　見てね
Oh please　特別なKissさせて
恋の雫　キラメイタ　ゴンドラで

※I love you I love you
　I love you I love you　素敵ね
　流れ流れ二人　いつかMoon River
　渡りましょうか　二人で暮らす
　Shiny dream　そこにある…

並木のプラタナスが　さざめけば
二人の肩が　ふいに触れるの
おそろいセーターには　ストロベリー
赤くなるハートみたい　揺れるわ

夕暮れに瞳を　閉じて描く
So sweet　別々の夢だけど
クロスしてく　その時が見えてくる

I love you I love you
I love you I love you　素敵ね
流れ流れ二人　いつかShooting Star
青いときめき　空を横切り
Shiny dream　描くのよ…

※Refrain

夏少女

作詞・三浦徳子／作曲・小杉保夫／編曲・大谷和夫

※両手を広げ　あなたへと
　駆けてゆくのよ　青いビーチ

月曜日に見た夢が今
叶ってゆくの…
あなたは自転車　体ごと　波に倒れた
ランニング・シャツの白い色
Angelみたい　羽根が生えてる
My sweet boy！

海からの風も今日は
キラキラ夏です…世界中が笑いかけるの…

※Repeat
　お願いなの　くちずけは
　私だけ…

　ジュースじゃないのね　いたずらが
　好きな人です
　ちょっぴり苦くて　紙コップをマジマジ見たわ
　帽子で隠した白い歯が
　Angelみたい　嬉しそうなの
　My sweet boy！

　二人でいるから　今日は
　キラキラ夏です…世界中が笑いかけるの…

　すべてを忘れあなたへと
　駆けてゆくのよ　青いビーチ
　お願いなの　恋人は
　私だけ…

※Repeat　　La, La, La,……

フジテレビ系ドラマ「スケバン刑事(デカ)III」主題歌

Remember(リメンバー)

作詞・湯川れい子／作曲・来生たかお／編曲・中村哲／歌・風間三姉妹

唯）どうぞ　泣かないで
ああ　さよならを
微笑みのまま
刻みこむのよ

結花）風のファンタジア
ああ　旅立ちの
由真）悲しみさえも
笑顔に変えて

唯）未来に輝やく星くず
この手で　すくいたいの

三人）※忘れない
忘れない
時間の海　越えても
くちびるで
いつまでも
あなたの名前　呼ぶわ
もう一度逢う
時まで

唯）今は　切なさの
ああ　秋の色
触れた指先
ふり返るけど

結花）恋のメモリアル
ああ　優しさで
由真）あしたの夢を
叶えて欲しい

唯）見えない翼をひろげて
天使は空を飛ぶわ

三人）変わらない
変わらない
真珠のように　いつも
想い出は
鮮やかな
消えないポートレイト
心の奥で
ゆれるわ

※Repeat

Present

浅香から、あなたへの贈り物。アルバム『Present』の全曲集だヨ。エッセイを読みながら、大声で歌って。

私の未来は…？

去年、4人の占い師さんにまとめて占ってもらったことがあるの。

その時、私は3回ぐらい結婚するって言われてしまったノダ!! 最初は23歳頃。で、27歳頃にも結婚。あと、運悪ければもう一度再婚するんだって……。

どうなのかナ、別れる時、私の方が相手を捨てちゃうのかナ、それとも相手の方が私を……？ そこまではサスガに聞けなかったけど、キョーミある問題ネ！

私は、あまりジンクスを意識することってないけど、霊感やUFOの存在って信じてる。UFOって、ゼッタイ存在すると思うよ。まだ一度も見たことないけど、いつかきっと見てみたいナ!!

でも、その頃(27歳)までゼッタイ結婚していない気がする。負けん気の強いところは変わんなくて、あんがい口うるさい女になってたりして……。

10年後なんて、遠いことのようだけど、アッという間かもしれませんネ。せいぜい、一日一日を大切にして生きていこうっと！

ても好きな歌でした。あれから2年。
今後どんな歌手をめざしたい
と、むずかしいけど……。
カワイくて、女の子っぽい歌っていうより
も「ヤッパシH！」とか「コンプレックスB
ANZAI!!」みたいに聴いてくれる人がち
ょっとでも元気になってくれる…。みたいな
歌が歌っていきたいなあ。
浅香唯18歳！　唯はいつでも青春を応援し
てるよ。

歌の方向性

'85年6月、デビュー。
デビュー曲は『夏少女』。
この曲は、軽くさわやかなイメージで、と

やりたいこといっぱい

デビュー3年目の今年は、とてもジュージツした1年でした。

特に、ファーストコンサート『OVER THE RAINBOW』をやった4日間！　今でもあの時のコーフンが体のどこかに残っているみたい……。

テレビの『スケバン刑事』に出演したことも、私自身をとても大きくしてくれたと思う。収録を終えた時は、学校の卒業式と同じような気持ちになっちゃって、胸がジーンとしちゃったものネ。ただし、『スケバン――』は、オール課外授業！　ってカンジだけど、強く耐えることの大切さを教えてくれた、ステキな〝授業〟だった、って思います。

来年もコンサートはぜひやってみたいし、映画の『スケバン――』も成功させたいし、色々夢はふくらんでいる浅香です。

私って、今のところ特技といえるものがないでしょ？　せいぜいバレーボールくらいで、ジャズダンスにしてもクラッシックバレエにしても、他の人みたいなお稽古をしたことがないから、与えられた仕事を一生懸命やりぬいて、その中で何か少しずつ特技を身につけていくしかない、って思っています。

ラジオも、もっとたくさん出たい。1人でずっとしゃべるのより、誰か相手がいて、その人と台本になりやりとりをフリートークでやる形式のものなんか面白いと思うんだ。

私も12月4日で18歳になりましたし。

年齢にふさわしい女の子に成長できるよう一歩一歩キチンと歩いて、いいお仕事をいっぱいしたいナ!!

って言われたの。私はその時、ヨーヨーの練習のことかナ、ぐらいにしか考えていなかったんだけど……。

たしかにタイヘンでした！

アクションも、台詞(せりふ)のしゃべりかたも。

何から何まで、ピリピリした動きをしなきゃいけないんですもの……。ヨーヨーもかなり練習しましたヨ！　下からグルリと回して回転させるアレとか。

でも〝とにかくやらなくっちゃ！〟って自分に言いきかせて、がんばったんです。

本番が始まったら、もっともっとタイヘンなことがいっぱい！

生キズなんてしょっ中だったけど、一番つらかったのは、石神井公園て所で撮影した時寒くてネ、前から少し痛かったお腹が、仕事の始まりから終りまでずっと痛みっぱなし!!　あの時はホントつらかった！

しかもシーンは、結花がやられたカタキをとりにいく場面。決闘のところを撮る寸前にお腹の方もサイコーに痛くなっちゃって……それでも暴れましたヨ！

NG経験も豊富なの……なーんて、こういうことはイバれないんだけど、ヨーヨーを下からグルリと大回転、これがうまくいかなくて、NG19回！　ギネスブックもんだね、これは。

あと、階段から落ちて2週間撮影中止ってこともあったっけ。あの時は、スタッフに2週間待ってもらって迷惑をかけちゃったの。

今年2月に公開された映画版『スケバン刑事』、観てくれた人いるかナ？　これに、〝現役が力を貸す〟って形で私も出演したのヨ！

来年'88年2月に公開予定の『スケバン刑事III風間三姉妹の逆襲』には、いよいよ主役をやらせていただくことになって、今、とっても燃えています。

アクションも盛りだくさんで、目がキラリと光ったり、飛行場での爆発シーンがあったりで、かなり大変。とにかくハンパじゃない映画なの！

アクションを主体にしたものなら、あんがいやりやすいのかもしれないけど、今度の映画は愛がからんだりして、人間心理がとても複雑に入りくんで、演技面でも相当なものが要求されそう……。

台本読んだ時、「これはかなりタイヘンみたい……」って思ったけど、映画は前からゼッタイやってみたかったから、全力を出してがんばろうと思ってます。

みんなも、私がどこまでやれるか見守っていてネ!!

ヨーヨーってむずかしいヨ〜ン

『スケバン刑事(デカ)』の主演を南野陽子さんから受けつぐ時、「タイヘンよ！　がんばってネ！」

YUI 1st.Concert
Over The Rainbow
主催／六本木オフィス・文化放送　協賛／雪印乳業㈱

「違うヨ」
「唯ちゃんだヨ」
「そうかナー」
ってやってるの。ウヒヒ、と思ってうれしくなっちゃって、その子たちの方へ顔向けてニコッと笑ったのネ。そしたら、
「やっぱり違うみたいだヨ」
……。ムムムッ、こんなことがあってよいのかッ。
でも、名前や顔がだんだん知られてきたショーコだ、とか思ったら元気が出てきましたヨ！
『スケバン刑事』に出るようになったら、ずいぶん顔が知られるようになって、スーパーから出たとたん、
「今日はヨーヨー持ってないの？」
と、突然きかれたり……。

私はダレ？

デビューして、私の気持ちもオフの時は〝川崎亜紀〟仕事の時には〝浅香唯〟の自覚が出てきました。

街の中で、初めて、

「あのコ、浅香唯じゃない？」

って言われたのは電車の中でした。高校生ぐらいの女の子が、友達とヒソヒソやってるの……。

「あれ、そうだヨ」

はじめのうちは失敗ばかり

デビューする前に宮崎大学の学園祭に出演したことがあるんです。すっごく短いショートパンツでネ、グリーンと赤と黄色のハデハデなのだったから、ちょっぴり恥ずかしかったナー。
歌った曲は『夏少女』『1人ぼっちのランデブー』。
体育館はいっぱいで、私の友達もたくさん来てて、手を振ってる間に歌詞忘れちゃって……。
こういう失敗談って、なんかけっこうあるンだワ。
初めて銀座で公開録音で歌った時は、歌ってる途中で親衛隊のコが、「唯ちゃーん」ってコールをかけ始めてネ。それ聞いたら、何だか急におかしくなって吹き出しちゃったの。
実際はレコードを流してたからラジオ聴いてる人には分からなかったけど、その場にいた人は?、?って顔してた。おっこられたナーあの時は……。
それから、お化粧が濃すぎて、失敗したこともあるし。

やることなすこと初めてのことばかしで、「へぇ、レコーディングってこうするの!?」って、いちいち感心したりして……。それにしても、背広を着た人がたくさんいるなアとか。
言葉がナマったりしないかしら、っていうのも心配で、〝自転車〟のことをジデンシャって言ったら、ジテンシャと言うんだよ、と直されて、ウ～ンと考えてしまったり……。
アレコレあったけど、何とかレコードができ上って、ようやく〝私も歌手になったンだ〟っていう実感がわいてきました。

レコーディング体験

オドロキましたねーッ!! 毎年、新人歌手が300人も400人もデビューするって聞いた時は。絶対ウソだー、とか思いましたヨ。

だって、宮崎でテレビの歌番組みてた時は新人歌手って7〜8人しかいないもンだ、って信じこんでいたんですもの。新人じゃない歌手だって、テレビに出てる人たちだけで全部だと思っていたくらいなの。

で、練習は、くる日もくる日も腹式呼吸や発音練習みたいなのばかり……。

やっと歌えると思ったら、横になって足あげてそのまま歌え、ですものネー。でも、これが歌を歌う人の基礎なんですネ。知らなかったー! 私は声を出すのがやっと。ただウーウーとうなってただけでした。

横になって足をあげて歌うって、考えたよりずっとタイヘン。

晴れて最初のレコーディングをした時は、やっぱりうれしかったですネ。

スタジオの立派な設備とか見た時は「スゲェー」って、思わず小声で叫んでしまったけど、わりかし冷静にマイクの前で歌っていたよーな気がします。

何か、気のきいたことを一言でもしゃべれればよかったンだけど、マイクを手にしたまま、ほとんど何もしゃべれなかったの。田代さんが気をつかって話しかけて下さっても、ただうなづくだけ。
それで精一杯だったの……。モ～、我ながらイヤんなっちゃいました。
だけど、考えてみたら、前の日まで宮崎のイナカで暮らしてた女の子なんですよネ。
宮崎のテレビでは、NHK2つと民放2つの4チャンネルしかないんですよネ。
歌番組っていえば、『ザ・ベストテン』と『ヒットスタジオ』『ザ・トップテン』くらいしかない所なんですよネ。(今は、ふえたかナ?)
でも、そんな私も、とにかく、この『EXPOスクランブル』で、初めの一歩を踏み出した、というワケなの。

はじめのいーっぽ

上京して最初のお仕事は、'85年『EXPOスクランブル』（TBS系）で、マスコットガールというかアシスタント役をやりました。

なにしろ、上京した次の日に出演。しかもナマ番組なんですから！　森昌子さんや菊池桃子さん、田代まさしさんも一緒で、も～、キンチョーしちゃいました。

第3話
浅香 唯 はばたくの巻

ビリヤード

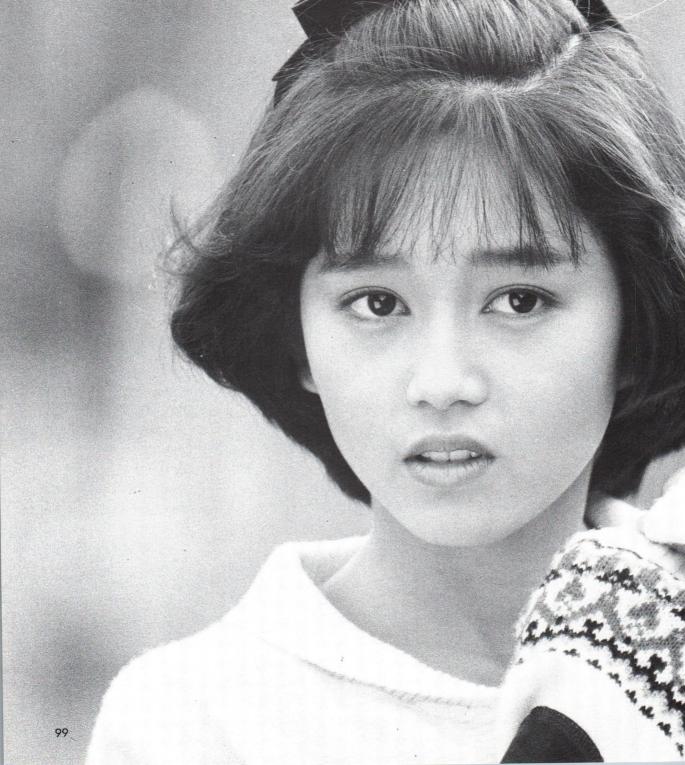
私、今、ビリヤードにこってるんです。

こう言うと、たいていの人は「エエッ！」ってビックリした顔をするの……。

ビリヤードといっても、私がやってるのはオモチャのミニビリヤード。寝る前に、これを少しやってからじゃないと眠れないくらい夢中になってるの。

地方ロケの時は、ホテルにあるビリヤードやったり、原宿にもビリヤードがあるんで、何回かやりに行ったことがあるんですヨ。

私、やり出したら止まらない、やめられない、なんだものネ！

白球を赤球に当てて、赤球だけ穴に落とすとするでしょ？　その時、白球は穴に落とさないでククッと止めるの。これが私のばあいうまいらしいのネ。

オフの過ごしかたパートⅡ

お仕事がオフで外出しない日――。
たいてい自分の部屋のお掃除してますヨ。
私は、一度部屋が汚くなるととことん汚くしてしまって、丸一日オフがとれた日とかに、ワーッときれいにするの。
「よ～し、いけッ！」
ってカンジで、すみからすみまで片付けちゃう。中途ハンパな掃除はしませんヨ。いったんやる、となったら、チリ一つ落ちてても気になるヒトなの。
ピカピカにお部屋を仕上げたあとなんか、模様がえすることもあるのヨ。観葉植物を買ってきて置いてみたり、ベッドの位置を変えてみたり……。
一人で、黙々と何かをやるっていうのも、とっても貴重な時間だと思う。
オフの日に何もやらずにいる、ってことはまずないんだけど、一度、すっ～～ごく疲れていて眠りこけてた時がありました。
その日は『スケバン刑事』の撮影があって、何かクタクタだったのネ。夜寝て、次の日の夕方4時までグッスリ！
起きたら薄暗いんで、あれ？　まだ明け方かナ、って思ったけど、外で人が歩いてるのが見えるし、テレビつけたら夕方の番組だし。
ア～ン、今日のオフ時間はパアになってしまった、って思ったら悔しくって仕方がなかったわ！

オフの過ごしかたパートⅠ

お仕事がオフの日――。
渋谷、原宿方面に自然と足が向くことが多いみたい。
友達とブラブラ歩きながら、ウインドショッピング。
私って、何か見て、「あ、欲しい！」って衝動買いのできない性格なの。
いつだったかナ、アクセサリーの気に入ったのを買ってたら、男の子2人女の子2人のカップルに「唯ちゃんだ」って見破られちゃって……注文した品物にちょいちょいと細工するのに、ちょっと時間がかかるんで1人で待ってたのよネ……で、その子たちが「あーッ！」とか言ったものだから、回りの人がワーって集まってきちゃったの。
大騒ぎになりそーだったから、待たせてあった車に乗りこんでたけど、まだ注文の品ができないし、車は人に囲まれちゃうしで、間がもたなくなっちゃってネ、
〝私は、今ここで、何か芸でもやらいといけないのか……〟
なーんて思ったりして。
それで、仕方がないから、みんなの方を向いてニッコリ笑ってから、バイバイ！ってしたの。ワハッ！これで間がもった、とか思ってるうちに品物がようやくできてきて、あーよかった。じゃ、みなさんバイバーイ！と去って行ったのです。
回りの人に気づかれても、私が友達と一緒の時は、こんな騒ぎにならないみたい。向こうもちょっぴり遠慮するのかもネ。
一度、こっちが1人で、気づいた方も1人って時があったの。何となく両方でパチッと目が合ってしまって、ニコッと笑って、どちらからともなく友達同士みたいに立ち話したこともあるのヨ。その人、とってもステキなカンジのいい子だったわ。
少しまとまったオフがとれた時は、故郷宮崎に帰ることもある。

色んなコワイ目に会ったけど、都会で暮らしていくことに不思議と抵抗はなかったの。都会の生活テンポがキライじゃなかったから……。
歩くといえば原宿！　行きましたよ、竹下通り！
歩いてたら、男の子たちに声かけられたの。
「どこから来たの？」
「宮崎よ」
「へぇー、ずいぶん遠いじゃん。年いくつ？」
「15よ」
「ナニ!?　オレたちより年上じゃん」
彼らは中学生だったの。あんな子供がねェー。東京の子ってマセてるゥ！　って思ったわ。
「どこに住んでるの？」
って聞かれたから、
「東京！」
って答えたら、どこかへ行っちゃった。
それからしばらくして、やっと自分が東京の〝杉並〟って所に住んでるンだ、って知ったんです。

原宿歩けば

少し東京の生活にも慣れて、初めて自分で電車の切符買った時は、どーしたらいいのか分かんなくてオロオロしちゃいました。
だって、110円で（その頃の最低料金は110円だったノダ）行ける区間っていっぱいあるし。
自動販売機にも慣れてないから、ホントにお金を入れてボタンを押すだけでいいのかナ……って、オロオロ、ウロウロしちゃった！
やっと切符を買えた時は、もう、冷や汗もんでしたヨ！
生まれて初めて地下鉄に乗った時なんか、電車が暗いトンネルの中に吸いこまれてくのを見て、思わずビビリました。
息もできなくなりそーな気がした……。

東京に来てからは、「スゲェー!」って思うことばっかし!

まず最初、羽田空港に着いたら、いや〜な、生ゴミみたいなニオイが、ドッと鼻におしよせてきて、「こ、これが、大都会東京のニオイか」と、ビックリ。ヒコーキのタラップおりて、出口をさがしたけど見当らなくてネ、みんな他の人はバスに次々乗りこんじゃうじゃない。行き先なんかも書いてないし……。

もし乗るンなら小銭がいる、とか思っておサイフ握りしめてたら、スチュワーデスさんが「どうぞ」と言ってくれて。

このバスで空港ターミナルへ行くんだァ! スゲェー、と思いましたヨ。

ターミナルに着いたら、人、人、人!

それもみんな、すっごく不愉快なことがあったみたいな顔してる。

間違ってドンとぶつかったりしたら、黙ってパンチが飛んできそうな、怒りっぽそうな顔してる。変な人たち、と、また思ったりして。

電車に乗ることになって、山手線のホームに立っていたら、次から次へ、1〜2分おきに電車がくるのネ!

「スゲェー!」

って、マジに思いましたヨ。だって、宮崎じゃ、遠足とか旅行に行く時に、たまーに汽車に乗るくらいだったンだもの。

しかも、しょっ中電車が来るのに、みんな顔色かえて急いで乗ろうとしてる……。乗れなかったら次のに乗ればいいのに。

大変な所に来ちゃった……って、またまたア然としました。

電車に乗ったら、ここでもみんなムスーッとしてる。私は、人と顔が会うと、すぐニコッと笑ってしまうクセがあって、宮崎ではそれがキッカケで、友達みたいに話を始めたりすることがよくあったの。

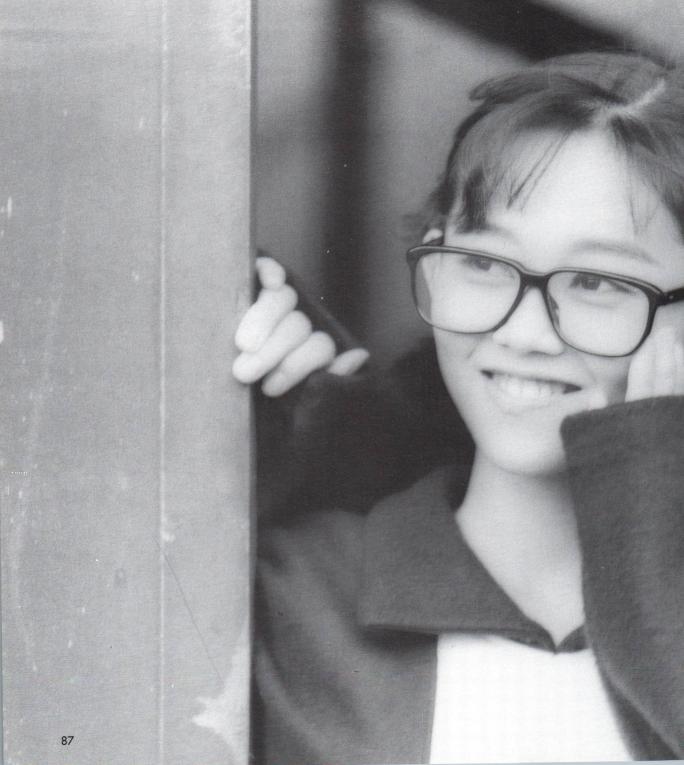
渋谷駅で、満員電車に乗った人を、後ろから押す係の人がいるって知ったの。

窓に押しつけられてる人の顔が平にのびちゃって苦しそう!

これには乗れないと思ったから、次の電車に乗ろうと最前列に立っていたら、もう、アッという間に後ろに列ができているの。宮崎では、車やバスに乗るのに並んだりしない。いつもすわれるから、適当に乗ればいいワケ。

私の横にオバアさんがいたから、先に乗せてあげようと思っているうちに電車がきてネ、ドアが開いたと思ったとたん、ドッと人がおりて来たの。あわててよけたら、今度は後ろからグイグイ押されて、オバアさんのことを気づかうひまもなく反対側のドアまで押されてしまった!……

東京では、お年寄りに席をゆずることもしないの!? って、ホントおどろきました。

東京の電車はすごい!

愛しいナチちゃん

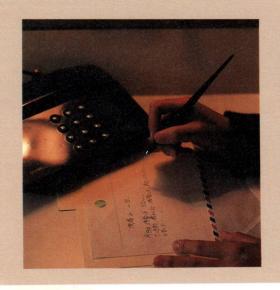
犬を飼ってます。柴犬。
名前はナチちゃん。
男の子のくせに女性のことが嫌いで、女の人と見るとすぐ吠える犬だったの。
でも、最近は、人……じゃない、犬が丸くなったみたいで、あんまり人見知りしなくなったんですヨ。
ナチが『ベストテン』に出たんだけど、写真とる時に、ベテランのタレント犬みたいにキチンとすわってポーズとってるじゃない？
「やだー、この子、タレント性があるッ」
とか思っちゃいました。
とにかく、みんなでいーっぱい遊んであげたから、私たちにはすっごく慣れてて、ふざけ合ってる時なんか、〝フニャ！〟ってカンジで笑い顔みせることもあるのヨ！　今でも宮崎へ帰ると、一緒におフロに入って毛なんかもよくとかしてやるんです。
散歩に連れてくとどんどん引っぱられてネ。
でも、ナチの方は、父のことを一番好いてるみたい。犬って、その家で一番エライ人って分かるんだって、だから父を尊敬しているのかもネ！
私、猫のこともけっして嫌いではないの。むしろ好き！　なのに、どっちかというと犬に好かれるみたいなの。

やるっきゃない

いざ芸能界に入ることになって、プロダクションに所属することになりました。
プロダクションのかたが、両親にアレコレ説明して下さったんだけど、私も、私の両親も、芸能界のことって何もわからなかったから、説明を聞いても、戸惑ったし、不安でしたネ。
デビューのために宮崎から東京へと飛ったのは中学の卒業式の日。両親や学校の友達が空港まで見送りに来てくれたの。ヒコーキに乗る直前まで、お母さんが言うの。
「今なら間に合うヨ！」
って……。シンケンに……。
その前に、カネボウのシャンプーのコマーシャルに出たことがあって、真冬なのにサマーセーター1枚で頭からアワ出して……なんてことがあったから、よけい芸能界って大変なんだと思ったんでしょうネ！
上京する時、私が持ってきたものは、着る物くらい。他には何もなかったの。
これから親と別れて暮らすってことも、大都会で歌手になるってことも、それほど不安じゃなかった……
とにかく、今はやらなきゃ！　って、それだけだったんですネ。

宮崎の人同士が早口でペチャペチャしゃべってるのを聞いたら、知らない人は外国語に聞こえるカモね！

宮崎弁

お国訛(くになまり)って、なかなか抜けないものみたいですネー。
上京したての頃は、気をつけてるつもりなのに、ついつい宮崎弁が出てしまって、しまうことを〝なおす〟と言って、「何がこわれたの?」なんて聞かれちゃったりしました。
私がよく使った言葉は、
〝はかれこつ〟。ほっときなさい、っていう意味なの。
〝よだきい〟は、メンドウくさい時などに使う言葉で、けだるく「いえ～」とか言うのと同じなの。かったるいなぁ、も～ヤダなぁ、ってカンジね。
〝のさん〟は、たまんないなぁの意味。
〝ひんだれた〟は、疲れた。
あと、よく使う宮崎弁をいくつかあげると、
〝こんめ〟……ちっちゃい。ウヌ、よく私言われましたヨー。
〝せからしい〟……やかましい。
〝はらかく〟……怒る。
〝いっちゃがー、いっちゃがー〟……いいから、いいからとなだめるカンジで。
〝おじ～!〟……コワ～イ!
〝まこっち〟……ホントに、もう。
……と、まあ、こんな調子ネ。
とにかく、宮崎の人ってみんな早口で、言葉の終りに、〝～やじ〟〝～だじ〟ってつけたり、〝～じゃろ〟とか〝～やろ〟ってくっつけて、語尾をキュッと上げるようにしてしゃべっているのヨ。

軽い気持ちでオーディション

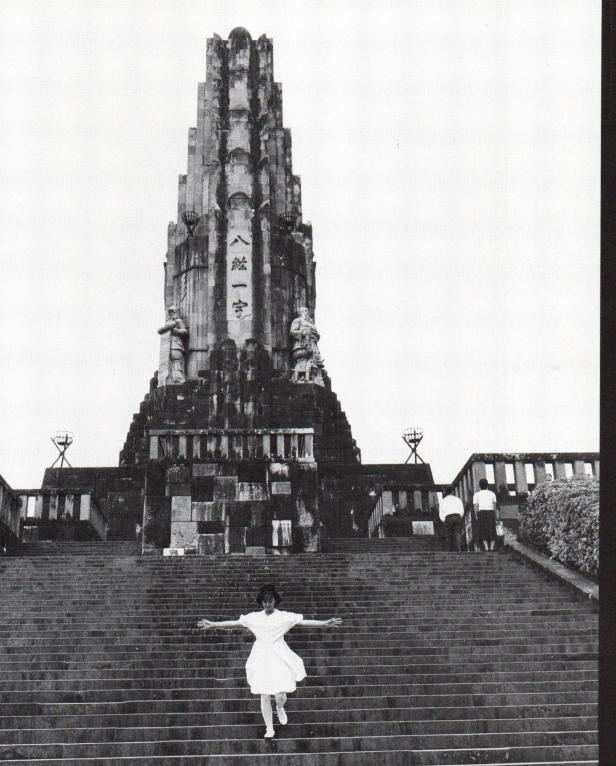
そう!! あれは、中3の夏休みのこと!
たまたま新聞読んでたら、オーディション募集の記事がのっていて、〝貴方が浅香唯です〟って書かれていたの。
マンガの主人公の浅香唯ちゃんは、帽子かぶって、エヘッというカンジでほほえんでいた。
「へぇー、こういうのがあるのかー」
ってカンジで見ていて、次に賞品に目がいったんです。
ハワイ旅行!
それに、ステレオ!!
いいなぁ。誰がもらうんだろう……。
私、ステレオの方が、ハワイ旅行よりミリョク的だった。
オーディションに応募したのも、ステレオがもらえるんならって思ったからなんだもん。

みんなでオーディション

ずーっと前から芸能界にキョーミあったの？　ってよく聞かれるけど、答えはノー。
何しろ、芸能人って宇宙人のようなもンだと思っていたくらいだから、まさか自分がこの世界に入ると
は夢にも思っていなかったわ。
ただ、歌を歌うのは大スキだったの。
学校で授業中に、よく鼻歌うたったりして、自分ではちいさい声のつもりなのに、あとで友達から、
「ずーっと聞こえてたヨ」
って言われたりしたの。
クラスでは、けっこうみんな、団体で雑誌のオーディションに応募するのがはやってたなあ、そういえ
ば。

第2話
浅香 唯 上京すの巻

八紘一宇

夜の外出

ちっちゃい頃から、私、人混みがキライだったんです。
人がいっぱいいる所に行くと、何だか人酔いしちゃうみたいで気分が悪くなるの。
お祭り自体はスキだけど、どうも人がゴチャゴチャ……っていうのはニガ手。
それに、うちの両親は、チェックがキビしくて、夜の外出っていうと結構うるさかったんだ。
よぼどの時だけ認めてもらえるんだけど、それだって、必ずアリバイをはっきりさせてくれる人物が付き添ってないと、オーケー出してもらえなかったの。
例外といえる夜の外出の中で、一番覚えてるのが、花火大会に行った時のこと……。
でも、ツイてなかったの。雨が降り出しちゃって花火大会は中止。でも、知らないフリして出かけて、友だちと遊び歩いちゃった。
ささやかな夜の外出だったけど、とても楽しい思い出です。

貯金魔

宮崎に1軒だけ『ミスター・ドーナツ』のお店があるの。
中学時代、私、ここでアルバイトしたいなぁって思ってたの。
お小遣いはもらってなかったのかっていうと……私って意外にガンコ者だから、自分でもらわないようにしてたとこあるみたい。
欲しいものがあると一応、親に、
「買ってくれるゥ？」
って聞いて、買ってくれなくて当り前、買ってくれたらラッキー!!……ってカンジだった。
ま、中学生のことだから、特別にお金のかかるようなものは必要ないんで、私の場合、お年玉なんかはガッチリ貯金してました。
そのおかげで、貯金はけっこうたくさん貯まったのよォ！　何しろ親にお金を貸してたくらい……。
上京する時は、貯金全部おろして、タンスとドレッサーを買って、残りは親に使われないように持ってきたのだ！　我ながらシッカリしてると思うよ。エッヘッヘッ。でもその貯金でまっ白いタンスにまっ白いドレッサーを買ったのだ♡　ガハハ…。

恋愛ごっこ

初恋って呼べるのは、なんと保育園の頃…。
お医者さんの子でまっ白い家に住んでたの。
みょう字はたしかカワゴエ君…。
毎朝うちまでむかえに来てくれて、どこに行くのも、いつも一緒。
どっちかと言えばイジメっ子で乱ぼう者だったけどヤサシイところもあったなあ…。
保育園の終わったあとのオキマリデートコースと言えば〝駄菓子屋！〟…。
チューブに入ったチョコレートや糸のついたいちご味のキャンディ、塩せんべいetc.etc.……
なつかしいなあ。
恋だなんて呼べない〝恋愛ごっこ〟。

宮崎神宮駅
MIYAZAKI JINGŪ

るし……。彼、ふたまたかけてたのネー。自分はダメだ、チビだ、と言いながら、けっこうヤルじゃん！って感じだった。
でも、ラブレターもらったっていうのがうれしくって、お母さんに見せたの。お母さんは、ラブレターって認めるのがイヤだったみたいで、見て見ぬふりするの。親ってあんがいそういうものかもしれないですネー。
その子とは、中学生になってから話をしたりしてたけど……でも、あのラブレターはホントにこの子が書いたのかナーって、半信半疑でしたヨ。

初恋とラブ・レター

初恋……？　保育園時代のあの子かな……。いつも帰る道とは反対方向に帰った日、私と一緒に帰ってくれて、夕方まで遊んだ子。小学校は別々になっちゃったけど、小学生になってしばらくの間は、よくうちにも遊びに来てくれたりしていたの。

でも、私が1年生の3学期に引越しちゃったから、もう、遊ぶこともなくなっちゃって……。

でも、中学時代に、街の中で偶然バッタリその子と会ったのネ。おっどろきましたー。だって、髪を赤くそめてたし、ちょっと昔のイメージと違っちゃってて……。黙って軽くあいさつしただけで通りすぎちゃった……。

それっきりです。その彼とは……。

ラブレターもらった経験は、小学校5年生頃。ヘンな手紙でね、名前が書いてないの。ボクはあなたが好きだけど……背が小さい、とか、スポーツがダメ、とか……。

それで、それらしい子をさがしてみると、イメージぴったりっていうのは、1人しかいないの。

あの子かなァ……と思ってたら、なんと！私の隣にすわってる女の子が、同じ内容の手紙を読んでいるじゃない。ハッとして、もしや……と思ったけど、私の手紙は手元にあ

って言ったのヨ。私もどんなプールか知らなかったけど、「そうそう」なんか調子あわせて……。なーんだ、アイツもいいかげんなヤツ！　地図書いてくれた子も……。
と、とにかく……誰も行ったことがないのに、知ったかぶりしてたのがいけないのだ！
あ～あ。
それにしても、私の人生18年のうちでも、これは最大級といえるくらいの失敗でした。

〈モーター・プール〉事件

小学生時代からプールで泳ぐのが大好きでした。

だから、地元に〈モーター・プール〉ができたって聞いた時はうれしくて……!!

「わーい、すぐ泳ぎにいこう!」

って、仲のいい友達と大さわぎしたんです。

場所を知ってる子に地図書いてもらって、総勢5～6人でワイワイ街へ出かけました。

お気に入りの水着持って、心ウキウキ……バスなんか乗らずに歩いて行っちゃおう!ってみんなで張り切って……おしゃべりしながら楽しくて楽しくて……!

白地に水色の字で〈モーター・プール〉って書いてある大きな看板を見つけた時は、

「ここだー!」

って、大カンゲキ。

車がいーっぱい停めてあって、

「わッ、こーんなにたくさんの人が来てるのかー。きっと親子連れで来てるンだね」

「早く泳ぎたいネ」

「この奥にあるんだネ、きっと……」

とかみんなで言って、奥の方へ歩いて行ったら、アレレ、『非常出口』って書いてあるじゃない?

「入口は? どこ、どこ?」

って、さがしたけど見つからないから、駐車場の入口にいたおじさんに聞いたんです。

「あのー、〈モーター・プール〉の入口はどこですか?」

おじさんは答えました。

「ここだヨ」

「いえ……あの……プールの入口なんですけど……」

そしたら、おじさん、いきなり大笑いし始めてネ。

「〈モーター・プール〉ってプールじゃなくて駐車場のことだヨ」

って言うの。

自動車をプール(集めておく)所だから、〈モーター・プール〉って言うんだって!

それ聞いて、私たち、カンペキ金縛りになりました。

次に、モーレツに恥ずかしくなって、水着の入ったバッグを後ろにかくしたりしながら、アハハハッ……って笑ってごまかしたの。

で、でもサ……。

私、クラスの男子に

「〈モーター・プール〉って知ってる?」

って聞いたら、

「うん。流れるプールだろ?」

お誕生日、忘れちゃイヤ！

私のお誕生日は12月4日。

世の中は、11月の後半ぐらいからクリスマスのふんいきに包まれるでしょ？

だから、下手(へた)すると、クリスマスパーティーでまとめてやっちゃおう！　みたいなことになりかねないのネ。

特に我が家は、家族4人とも12月生まれだから、よけいその傾向が強いの。

街にジングル・ベルのメロディーが流れ始めると、

「ちょっと待って待って！　その前に何かあったんじゃなーい？」

って言いたくなっちゃう。

ちっちゃい頃は、それでもキチンとバースデーパーティーみたいなことやってもらってて、プレゼントをもらってすっごくうれしかったのを覚えているわ。

大きくなるにつれて、だんだんクリスマスにまとめて……って感じになってきて、プレゼントをもらう！　というより、プレゼント交換！　というふんいきになっちゃった。

私よりかわいそうなのがお兄ちゃん。

12月30日生まれだから、クリスマスのあとで何となくもう一度バースデーパーティーって感じじゃないし、年末のあわただしさの中で完ペキに！　忘れられちゃう運命にあるんですもの……。

そうそう！　小学校5年生の時、1回だけラッキーなことがあったの。

学校の試験が終る日が私の誕生日、って時があって、午前中で学校が終るから午後から家に集まってパーティーってことになってネ。

男の子と女の子を、半々ぐらいの人数呼んでおいたんだけど、5年生ぐらいになると、男の子も意識しちゃうとこがあるみたいで、家の近くまで来てウロウロしてたり、ちょっとだけ入って来てすぐ帰っちゃったり……。

その中に1人、半ズボンに蝶ネクタイってかっこうをしてきた子がいたの。

私、みんなにそっと、

「笑っちゃいけないヨ」

とか言っといたけど、やっぱりみんな内心おかしくて、ついその子の蝶ネクタイに目線がいっちゃったり、クスクスッと笑っちゃったり……。

その子も恥ずかしかったらしくて、すぐ帰っちゃいましたネ。

色々あったけど、この時のバースデーパーティー、とても楽しくて今でも思い出に残っています。

と思っていたら、そのうち3人が楽しげに帰ってきたの。
私はあわてて寝たふり。
そしたら、チョコレートパフェがどうのこうの、亜紀には黙ってようね……とか話してるじゃない?
〝私が寝てる間に食べてきたナー! くやしい〜!!〟
って、内心歯ぎしりしていたっけ。食べ物のウラミは恐ろしいぞ! 今だに、この時のことはよーく覚えてるもンね。
この時みたいに、寝ていて取り残されたことって、私の場合、わりかしあるの。
夜、ふっと起きたら、隣の部屋でテレビの音がしていて……誰かいるのかナ、って起き出して行ったら誰もいないの。
お兄ちゃんは? と見ると、布団はもぬけのから。めくっていってもいないワケ。
仕方ないからボンヤリとテレビをながめてたら、20分くらいたって3人で帰ってきて、「何してんのー」とか言われちゃって……。
「そっちこそどうしたのヨ」
って言ったら、お腹すいたから食べ物買ってきたンだー、って……。
末っ子ってつまんない。すぐ寝てしまうんだもの。夜ふかししても文句言われない大晦日でさえ、そう。
「今日は起きてんだー。年越そば食べるんだー!」
って張り切って宣言しといて……8時に寝てしまったり……。
気がついたら朝! で、すっごい後悔したり……。
小学校5年生の時、ラジオの『オールナイトニッポン』で鶴光さんがパーソナリティをつとめてる曜日があって、どうしても聴きたくて必死で起きていたことがあるの。やーっと夜半の1時になって、『鶴光のオールナイトニッポン!』って声がラジオから聴こえたとたん、安心してしまってグーグー。
なーんてこともありました。

〝眠り姫〟の親せき？

うちのお母さんって面白い人で、1人で留守番しなきゃならない時とか冗談で、「ネズミにつれて行かれてもしらないから……」なーんて言うの。
だから、私も、お母さんを1人で置いてくと、〝ネズミにつれて行かれるんじゃないか〟ってついつい心配になっちゃって……。
いつのまにか、お父さんとお兄ちゃんと3人で出かけるっていうのがキライになってしまったの。都合が悪くて、お母さんが一緒に出かけられない時でも、「ねぇねぇ、行こうよ、行こうよ！」って一生懸命さそってしまうンだ。
4人で出かけるのが何といっても安心できるのネ……。
そういえば、4人でドライブしたことってけっこうあるみたい。
いつだったか、海岸道路を走っていて、気がついたら私ひとりが車の中で眠っていたの。
〝あれ、みんなどっか行ったのかナ〟

防空濠も遊び場所

宮崎といえば観光地。
新婚さんもけっこう多くて、ペアのTシャツとか着てカメラ持ってれば、新婚さんと思って間違いなし！
すれ違う時、キャーキャー言いながらヒヤかしたりして、ホントいやーな顔されたこともあったっけ……。
巨人軍のキャンプ地があるっていうのも、宮崎の誇り(?)のひとつですネ。
いつだったかナ……王さんが宮崎へ来ると必ず行く、っていうウドン屋さんに私も行ったの。
ウドンを食べながら、
「この器、王さんが食べた器かなー」
とか思って、妙にうれしかったの覚えてます。
王さんが食べた器だったら〈当り！〉とか鐘が鳴って景品がもらえたりすると面白いだろーね！
小学校1年生の3学期に、市中心部のアパートから、平和台近くの今の家に引越して来たら、近くに防空濠があって、冒険好きの私は大喜び……！
防空濠って知ってる？　戦争中、この中に入って、敵の攻撃から身を守ったんだって。昼でも中は暗くって、危険がいっぱい！　というムードなんだけど、私ときたらお弁当箱にお菓子とか詰めて遊びに行っちゃったりネ……。

テレビに出てる人は宇宙人?

こんな話したらバカにされそうだけど……。
私、小学校の高学年になるくらいまで、テレビに出てくる人たちって人間じゃない、と思っていたの。
人間じゃないなら何だと思っていたのか、って?……
実は……宇宙人か、人造人間か、何かそんな特別なものだと勝手に思いこんでいたの。
谷村新司さんがテレビで歌っている姿を見た時なんか、
「どこの星の人かなア。いい声……」なーんて、マジに思ったりして……。
時々、ニュースとかで宮崎の地元の人が出たりして、自分の知ってる人とかがテレビに映れば、
「ああ……人間が映ってる時もあるのか」
って、すぐ分かったんでしょうけど、あいにく、私の回りでテレビに出た人なんて、だあーれもいなかったし……。
さすがに、小学校の高学年くらいになったら、テレビカメラで人間を映して、それをああやって画面に出してるンだって理解したけど、初めてそれを知った時はビックリしましたネ。
自分がテレビに映るようになって最初に自分の姿をテレビで見た時は、自分のことが情けなくて、カワイソーだった。この頃、ようやく、自分がテレビに出ていても、安心して見ていられるようになったけど。

大きいことはいいことだ！

学校で、背の順に並んで、「前へならえッ！」をすると、一番前の人って、両手を腰に当てるでしょ？

私は背が小さかったから、たいていいつも〝両手を腰に当てるヒト〟だったの……。

運動会とかで、おっきい順に並んで、5人ずつのグループに別れる時なんか、一番前の私だけ1人余っちゃって……。

だから、学年によって前から2番目になったりするとうれしくて、張り切ってピッと両手を前に出して「前へならえッ！」をやったもんですョ……。

そういうコンプレックスみたいのがあったせいかナ。中学生になった時は、自分がググーンと大人になったような気がして、小学生を横目に見ながら、

〝私は、あなたたちと違うのョ〟

みたいに思ったものなの。

制服をバシッと着てる、っていうのもすっごくうれしくて……作ったばかりの制服は大きめでブカブカだったんだけど、

〝私は、もうオトナ……〟

なーんて気になっちゃって……。

制服って、見るからにカチッとしてるから、着てる人の心までシャンとさせて、ひと回りもふた回りもおっきくなったような気にさせてくれるのかも……ネ！

にっくきサルめ!

小学校6年生の修学旅行で、別府の高崎山へ行っておサルさんを見た時の話。
ホントは、何も持っていっちゃいけないヨー、と先生に言われていたのに、赤い缶ペンケースを私は持っていってしまったのだ。
で、それを後ろ手に持って、
「サルだー。人なつこいとネー」
って見てたら、いきなりひったくられてしまったの、缶ペンケース。
「何すんのよー!!」
と叫んだけど、すでに遅くて……。
そんなもン食べられないヨ、と教えてやりたかったけど、サルは喜びいさんで走り去っていくじゃない。
「あー、私の缶ペンケース……」
とかつぶやいて、そのサルの姿が遠く見えなくなるまで、たたずんでいた私なのです。
あんな真赤の、ハデハデなやつなんか持ってって、そのあと、どーしたかしら。
歯でガブッとかやっても硬いし、なめたって味はしないし……。せっかく喜んで持ってったのに、かわいそうみたい。
いや、案外、
「わッ、いいもの持ってるー」
って、他のサルたちからうらやましがられて、その勢いでもって、お山の大将にでもなってるかもしれない……ネ。
そう考えたら、缶ペンケースを取られた悔しさもスーッと消えて、何だか楽しくなってきちゃいます。
でも、悔しい。

乗り物はニガ手

乗り物に弱い人は、耳の三半規管がビンカンなんだ、とかいうけど、私もそうなのかナ。

なにしろ、ちっちゃい頃、住んでたアパートから車で15分くらいの所にあったおばあちゃんの家まで、ほんのチョット車に乗っただけで酔っちゃって、途中で必ず、

「気持ちわる〜い！」

って、オエオエッとなりそうだったの。

車でさえその調子だったから、初めてヒコーキに乗ったときはキョーフでしたねー。

あれは、お母さんの仕事にくっついて福岡へ行った時のこと。

座席の背もたれにグググッ！　とかいう感じで押しつけられたかと思ったら、ブワッと空に飛んで、ユ〜ラユ〜ラ……。

「ゆ、ゆれとる!!」

って、思わずお母さんにしがみついてしまった！　こわくて、こわくて……!!

福岡に着くまでの30分が、妙に長く感じられたものです、ハイ。

それから、小学校4年生の時。

お兄ちゃんのサッカーの試合があって、お父さんと熊本へ行くことになって……。

試合というその重大な日に、なぜか私は、歯も抜くことになってて、歯医者さんから競技場へ直行！　ってカンジで行ったんだけれど……。

車の長旅がイヤだったのと歯ぐきの痛さばかりが強くって、お兄ちゃんのサッカーの試合が勝ったのか負けたのかも、よく覚えていないんです。

ガッチャマンごっこは楽し!!

みんなは、ガッチャマンって知ってるかなァ……?
私が小さい頃は、このガッチャマンが一番有名なアニメ・キャラクターだったの。
私は、友達とワーワー言って遊ぶのが好きで、いつも5人くらいの友達とガッチャマンごっこをして遊んでたのヨ。
最初にジャンケンして、ガッチャマン役や悪役を決めるんだけど、なぜかいつもチョキからしか出さない子がいてネ、グーを出せば勝てる！　そして、いい役がやれる！　ってカンジだったの。
ちょっと太目の子が「いーれーて！」って来ると、「じゃ、あなたフトッチョの役」とかみんなで決めちゃって。
〝合体〟すると力が強くなることにしよう、なんてルールを勝手に作ったりして、砂場をころげ回ったり、少し高い所からカッコよく飛びおりたり……。
他のどんな遊びより面白かったなァ。
私だって悪役やったことあるのヨ。悪役がいなくちゃガッチャマンごっこできないもンね。だから、悪役も、役になりきって、こわ～い顔したりして迫力あるの。
遊び疲れると、みんなめいめい50円ぐらい持って駄菓子屋さんにかけてって、
「くださーい！」
って言うなり、もうお菓子を口にくわえちゃったりして……。
お金なんか、誰がいくら払ったのかよく分んなかったりしてネ。
もうメチャクチャ！　って感じの部分もあったけど、ガッチャマンごっこも駄菓子屋さんでの買い食いも、とにかくすっごく楽しかった!!
他の女の子たちのように、リカちゃん人形遊びやママゴトごっこって、ほとんどやらなかったけど……ま、いいか……。

カギッ子

小学生になって、1人で登下校できるようになると、私はいわゆる〝カギッ子〟になりました。
保育園時代は、夕方お母さんが迎えに来てくれるまで園にいたけど、小学校1年生になったとたん、すっごく帰りが早いでしょ?
近所の子は、まだみんな保育園や幼稚園に行ってるし、年上の子は学校から帰ってきてないし……。
誰かと遊ぼうと思っても、だぁ〜れもいないのネ。
仕方ないから1人で留守番してたら、ある時、黒々とした大きな物体が、目の前をパァッ！と飛んだの。
よく見たら、それはゴキブリ！
「キャッ！」とか叫んで外へ逃げ出したけど、遊び相手もいないから、そのへんをウロウロしたり、アパートの階段を何度も行ったり来たりしたり……。
そのうちトイレに行きたくなっちゃって。でも家に帰るとゴキブリがこわいし。
なんたって、あのデッカイ奴が飛んだ！っていうのがキョーフだったんです。
トイレに行きたいのをガマンしつつ、アパートの階段を、行きつ戻りつしていたあの日……ミジメでした……。
でも、なぜか〝カギッ子〟っていやだなとは思ってなかったみたい。

自然だぁ〜いスキ！

小学校1年生の時に引越すまで、私はずっと宮崎市内のアパートに住んでいました。

アパートの前に、大学の農学部があって、馬・ブタ・鳥・羊・ヤギ・サル……といった動物たちが飼われていたの。

本当は、そういう動物たちにさわったりしちゃいけないんだけど、私はよく、大学構内で、友達と遊び回ってました。

ヤギの柵のところには、〈物を食べさせないで下さい〉って書いてあるのに、友達と、

「紙！　紙！」

なんか叫んで、私がパーッと家へ飛んで帰って、お兄ちゃんのノート持ってきて、

「あった、あったー！」

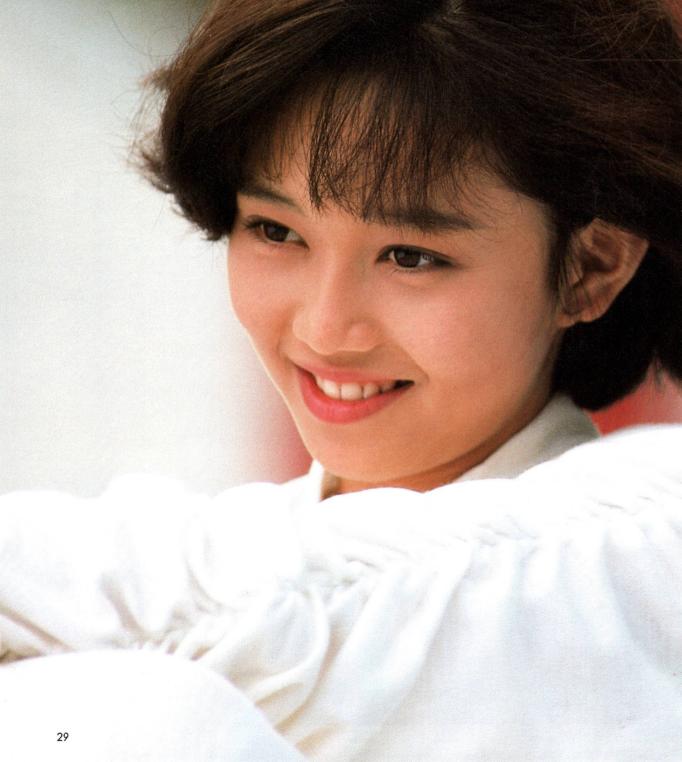
なーんてネ。で、ノートを1枚ずつビリビリッて破いてヤギさんに食べさせてしまったノダ！

お兄ちゃん、自分のノートがいつのまにか無くなって、ビーックリしたかもね。まさかヤギのお腹の中に入っちゃった……なんて思わなかっただろうなア。

大学の中には、木もたくさんあったから、木登りもよくしたし、夏はアミを持ってセミ採りするのがとっても楽しみだった……。

こんな風に、私って、自然の中で思いっきり走り回ったり遊んだりするのが大、大、大スキだったのです（今もだ!!）。

自然を相手に冒険ごっこ……あー、今思い出しても胸がワクワクしちゃうよーッ！

まあ、買ってからしばらくすると、フツーの木の机の方が良かったかナって後悔もしましたけど。
あ、そうそう……で、結局、その時はお父さんとお兄ちゃんが東京へ遊びに行ったんでした。
あの時、私が東京行きを取っていたら……ウ〜ン、今の〝浅香唯〟は存在していなかったかもしれませんねェ。
なぁーんて、ちょっと考えすぎかナ？

〝ピンクの机〟問題

小学校に上る前、机を買うか、東京へ行くか、っていう、私にとっては人生の別れ道ともいえる大事件がありました。

私は、なぜか、机に向かって物を書いたり本を開げるのが大好きで、机を持っていない時は、タンスの引出しを出して、自分の机がわりに使ったりしていたんです。

引出しを裏返すと、私にとっては、もうそれが立派な〝机〟！

そこに〈あき〉っていう、自分の名前書いて、エンピツ削り器の絵を描いて、ノートを帳簿みたいにめくって……。

ほら、よくあるでしょ？

インデックスっていうのかナ……小見出しがいくつもノートのはじっこに貼りつけてあって、見たい項目があると、その小見出しに指を入れて開くっていうのが……。

お母さんなんかが、よく、その帳簿を開くのを見てたから、私も同じような仕草がしてみたくて、してみたくて……。

マジに真剣な顔して、おデコにタテじわなんかつくっちゃって、その憧れの帳簿めくりゴッコ、よくやってました。

そんなワケだから、ちゃんとした自分の机を買ってもらう、っていうのが、当時の私の最大の夢！　だったのです。

「机を買うか、それとも東京へ遊びに行くか」と、お父さんに言われた時、私は迷わず答えましたヨ。

「机がいい!!」

それも、ぜったいにピンク色の机がいい！　って……。

なぜピンク色か、っていうとネ。

うちのお母さんって、好みがシブイというか、私に着せる洋服とかも、モノトーンや茶色系が多かったの。

だから、せめて、机はハデハデのピンクがいい！……そう決めていたンです。

お母さんは、「中学や高校になっても使うんだから、お兄ちゃんみたいな木製の机にしなさい！」って言ったけど、私はがんばっちゃいました。

ピンク色の机、私の夢と憧れがつまった宝物……。

大人になったら…

保育園に通ってた頃は、私も大きくなったら保母さんになりたいなァ、って思っていたんです。
でも、わりかし私って回りの環境に左右されやすくて、病院へ行くと、看護婦さんになりたいなァ……ステキなドレス着た人を見ると、お嫁さんになりたいなァ、ってカンジだったの……。
ただネ。お嫁さんにはなりたいけど、大人にはなりたくないの。
〝自分は大人になれるのかナ……〟
〝このまま、ずっと子供のままなんじゃないかナ……〟
そんな気がしてならないんだ。
鏡を見るのがスキだったから、毎日鏡を見て、いつ、どうやって、私は大人になるのか、突然変わる日がくるのか……なんて思っていたの……。
時計の長針が少しずつ動いて行き、ずっと見つめていても変化に気づかないけど、ちょっと目を離していると確実に針が動いていることに気づきます。
時計の針を見つめるように、毎日鏡をのぞき込むことで、大人へのステップを感じようとしていたあの頃。
のぞき込む自分の気持ちの変化に、最近チョッピリ大人になったかなあと思う浅香です。

その子の家のお母さんはまだ帰ってなくて、遊んでるうちに夕方の5時とかになっちゃって。心の中では〝どうしよう、どうしよう〟って思ってるのに、ズルズル遊び続けて、6時頃その子のお母さんが帰ってきたの。

「こんな時間までどうしたの!? すぐ家へ電話してあげるから電話番号教えて……」

って言われて、〝あー、家に電話されたら怒られちゃう〟とか思って、ウソの電話番号ばっかり教えて困らせていたの。

結局、保育園に連絡されて、車で両親と園長先生が迎えにきて……。帰り道、車の中で園長先生が「怒らないで下さいネ」って両親に言ってたけど……。

うちの場合、両親が2人していっぺんに怒るってことは一度もなくて、片方が怒ってる時はもう片方がかばってくれるっていうか……逃げ道をつくってくれていたの。

その時も、お母さんが怒っている間、お父さんは黙っていました……。

もののはずみでやってしまった道草だけど、みんなをあんなに心配させちゃって、ホント悪かったなーって、反省しましたヨ。

子供ごころに、〝私のことを心配してくれてるンだ〟とか思って、今でも、あの時のこと、心に残ってます。

道草

あの日は土曜日でした。
いつも保育園から一緒に帰る男の子と、その日は積木の取りあいか何か、つまらないことでケンカしてしまって、意地でも一緒に帰りたくないッ！ってことになっちゃったんです。
それで、反対方向の、集団で帰る子たちにまぎれこんで帰ることにしたんだけど、ええい構うもんかッ、て感じで、その中の1人の男の子の家で遊んでたのネ。

私のお父さん――。
いつも仕事が忙しくて、ふだんの日はあまりかまってもらえないかわり、家にいられる日には、ドライブとかけっこう連れてってくれました。
一緒に遊んでもらうのは、一ケ月のうちほんのわずか。でも、〝よく遊んでくれたなア〟っていう印象が強いの。短い時間でも、密度の濃いスキンシップをしてくれたんですネ、きっと……。感謝してますよ、お父さん。
私のお兄ちゃん――。
私とは3つ違いで、私と同じ保育園に通ってたヒトです。小学校の高学年の頃は、すっごく腕っぷしが強くて、頼りがいがありました。私が男の子にいじめられそうになって、突然助けを求めにいったりすると、
「なんだ、ウルセーなぁ」
なんてカッコつけちゃったりして……。
家の中では、顔を会せれば口ゲンカばかりしてたみたい。なのに最近は、妙にやさしいんだなア。洋服買ってってくれたりするもン。お兄ちゃん、これからもせいぜい、妹を大切にしろヨ！　エヘヘ。

家族っていいな

私のお母さん――。
今は友達みたいに仲がいいけど、小さい頃は、とにかくキビシかったですネ。
お母さんとしては、子供は、ちっちゃい時に躾しなくちゃいけない……って考えてたらしくて、食事の前に「いただきます」食事が終ったら「ごちそーさま」……これは必ず言わされてました。
お皿やおハシを運ぶ手伝いとかも、キチンとやらされてたし……。
テレビとかも、あまり見せてくれなかったっけ……。
小学校時代、『8時だよ、全員集合！』がはやってて、テレビみてないと話題についていけないのに、私は一度もみたことがなかったの。
どうしてもみたくて、「お願い！ 勉強いっぱいするからみせて！」って頼みこんで、一度だけみせてもらったのネ。
でも、そのあと眠くなって寝ちゃったら、「勉強するっていう約束だったのにッ！」って、しっかり言われた。
約束守らなかった私が悪いけど、お母さんもチョットきびしすぎたんじゃないかナ……。
私もかなりのガンコ者だから、めったなことではあやまらない娘なのです。
で、反抗的な態度とったりすると、家の外に出されてカギしめられちゃうの。
ちっちゃい頃から、私って、泣くのが大キライ。
だから、さむ～い真冬に外へ出されても決して泣かないの。そのまま、ジーッとしてる。
たまにそんな時に、隣のオバさんなんかがゴミを出しに外へ出てきたりすることがあるのネ。外に出されてるっていうのを知られるのが恥ずかしいから、パッとすわりこんで、虫をさがしてるフリしたりして……。「あー、可愛い虫だなア……」な一んて、わざとらしいこと言いながら……。
それでも、たいてい1時間くらいたつと、ガチャッてドアの開く音がして、家の中に入れてもらえたっけ……。
当時は、なんでそんなにキビシクされるのか分からなかったの。でも、今になって〝ああ、私のためだったんだ。私がちゃんとした大人になれるよう躾てくれてたんだ……〟って分かってきたんです。
お母さん、ちっちゃい頃はきびしかったけど……スキだったヨ……！ もちろん今も大好きだよ♡

告白！小児ゼンソクだったの

こんな1（ワン）シーンを覚えています。

ちっちゃい時、お父さんにダッコされて、病院の待合室にすわっているの。胸のあたりが苦しくって、咳をひっきりなしにゴホゴホゴホ……。体中がほてって、かきむしられるような痛みに、必死に耐えている……。

私って、小学校に入るまで、いわゆる小児ゼンソクだったんです。実は！

本当にちっちゃい時のことだから、その頃の苦しみや大変さなんか、たいていは忘れちゃってるけど、不思議と、その1（ワン）シーンだけは、よ〜く覚えてるのよネ。

うちは両親が共働きだったから、私は赤ちゃんの時から保育園に預けられていたの。お昼休みになると、お母さんが私の様子を見に来て、また仕事場に戻って行く、っていう毎日……。

熱なんかもよく出したらしいし、ゼンソクの発作で夜中も眠れなかったりで、お父さんもお母さんもかなり大変だったみたい。

でも、「小学校に上れば治りますヨ」って言うお医者さんの言葉どおり、小学校に入ったら、ホントにピタッと私の小児ゼンソクは治ってしまったんですよネー。

それ以来、病気もケガも全くなし！

第1話
川崎亜紀ガンバるの巻

DISCOGRAPHY

〈SINGLE〉

「夏少女」'85. 6.21
「ふたりのMoon River」'85. 9.21
「ヤッパシ……H!」'86. 1.21
「コンプレックスBANZAI!!」'86. 5.21
「10月のクリスマス」'86. 9.21
「STAR」'87. 1.21
「瞳にSTORM」'87. 5.27
「虹のDreamer」'87. 9. 9
「Remember(リメンバー)」(風間三姉妹)'87.10.14
「Believe Again」'88. 1.21

〈ALBUM〉

「CRYSTAL EYES」'86. 2.21
「Star Lights」'87. 2.28
「Rainbow」'87. 9. 9
「Present」'87.12. 1

〈VIDEO〉

「ONLY YUI」'87. 7. 3

浅香データ

本名■川崎亜紀

出身地■宮崎県宮崎市

生年月日■昭和44年12月4日

サイズ■身長153センチ、体重40キロ、
B78W56H78　くつ22.5センチ

血液型■A型

家族構成■父、母、兄

星座■射手座

趣味■小物集め

好きな食べ物■焼肉(特にタン塩)
カレーライス

好きな色■白、黒

嫌いな食べ物■ギョウザ

好きな花■
かすみ草

好きな歌手■尾崎豊

好きな映画■
ホラー映画

宮崎大付属中学時代、週刊少女コミックに連載された「シューティングスター」の主人公・浅香唯のイメージガールに選ばれて上京。60年TBS「EXPOスクランブル」のマスコットガールをつとめたあと、同年6月「夏少女」で歌手デビュー。

第3話 浅香唯はばたくの巻…103

第4話 浅香唯ラストメッセージ ～明日へ～の巻…139

Present~浅香For You~もくじ

コンニチハ!!
浅香です。
私が、一番大切にしているもの、
それは、
あっかるさと元気。
一ページ目から、最後まで
浅香の、あっかるさと元気を
あなたへ、プレゼントします。

浅香 唯フォト&エッセイ
Present
~浅香For You~

Present

浅香 唯 フォト&エッセイ

〜浅香For You〜